



冬休みは初詣、書き初め、干支の粘土人形作り。毎年恒例の取り組みで年始を楽しみました。また、第三土曜日には京都市青少年科学センターへ出掛けました。



●1月4日（水）

初詣は「にじ」から徒歩15分程にある護王神社に行きました。京都御所の西側にある神社で「足腰の守護神」とも呼ばれ、足腰の健康、病気・けが回復にご利益があると言われています。子ども達は「リレーの選手に選ばれますように」「マラソン大会で頑張れますように」とお願いしていました。



●1月5日（木）

習字の先生が用意して下さったお手本から自分で選んだり、冬休みの宿題で書き初めの課題がある子は学校の課題を書きました。習字の授業は小学3年生からなので、1、2年生は道具の名前、筆の持ち方など基礎から教えていただき、初めての書き初めに挑戦していました。



●1月6日（金）

今年の干支の「とり」を粘土で作りました。にわとり・ひよこの親子を作る子、「とり」の着ぐるみを着せたスヌーピーを作る子、ひよこを4つ作り「ひよこ4兄弟～」と言った後、「あっ、お母さんがいない！」と慌ててお母さんを4つ作った子・・・それぞれの個性が作品に出ていました。

これまでは、すぐ飽きて、3、4色の粘土を混ぜて終わっていた子が今年は1つの作品を作り上げていました。成長を感じた一場面でした。



●1月21日（土）

第三土曜の外出企画は京都市青少年科学センターでした。プラネタリウムの字幕上映がないので事前にナレーションの原稿をいただき、漢字にルビをふるなどの子どもが分かるような配慮をして、事前に配布しました。

プラネタリウム、館内の見学を楽しんだ後、穏やかな晴天だったので、科学センターの中庭で氷おになどの外遊びも楽しめ、子ども達は満足げな表情で帰路につきました。

